

2018年7月18日

報道関係各位

日の丸交通株式会社
株式会社 ZMP
三菱地所株式会社
森ビル株式会社

総合ディベロッパーと連携し、先進的な都市交通インフラ実証実験を都心部で展開 世界初 自動運転タクシーサービスの公道営業実証実験スタート

2018年8月27日より、大手町フィナンシャルシティ グランキューブ～六本木ヒルズ間で実施

日の丸交通株式会社（以下、日の丸交通）と株式会社 ZMP（以下、ZMP）は、自動運転車両を用いたタクシーサービスの公道営業実証実験を、2018年8月27日にスタートします。三菱地所株式会社（以下、三菱地所）と森ビル株式会社（以下、森ビル）は、本実証実験の意義に賛同し、都心部における展開を実現すべく、車両の発着地として両社が運営する施設を提供します。**尚、自動運転車両を用いたタクシーが公道にてお客様を乗せて営業走行を行うことは世界初の取り組みとなります。**

本実証実験は、ZMP の開発した自動運転車両と予約システムを用いて、日の丸交通が公道におけるタクシーサービスを実施するもので、実験の区間は大手町フィナンシャルシティ グランキューブ（東京都千代田区）と六本木ヒルズ（東京都港区）を結ぶ約 5.3km を予定しています。実験期間は 2018 年 8 月 27 日～9 月 8 日で、利用者（実験参加者）は広く一般から募り、本日より専用サイト（<https://www.zmp.co.jp/aidelitaxi>）にて公募を開始します。また、本実証実験は、自動運転技術の実用化を一層加速するために東京都が本年度より開始した支援事業『自動運転技術を活用したビジネスモデル構築に関するプロジェクト』に選定され、国と東京都が共同で設置する『東京自動走行ワンストップセンター』の支援を受けて実施されます。



日の丸交通と ZMP は、自動運転タクシーサービスの商用化を実現することで、東京が抱える交通混雑解消や環境負荷を低減することを目指すだけでなく、交通弱者のサポートや慢性的なドライバー不足の解決も狙います。

三菱地所と森ビルは、総合ディベロッパーとして、未来の都市のあり方を提案すべく、最先端の研究機関や大学、企業と連携し、街を舞台に様々な共同研究や実証実験に取り組んでいます。今回は、その一環として、新しい都市交通インフラの整備を目指す本実験に協力し、国際都市・東京のさらなる機能向上を目指します。

実証実験の概要

日時： 2018年8月27日(月)～同年9月8日(土) 9:00～17:00 (予定)

※9月2日(日)を除く。天候や交通状況により運行中止の可能性あり

実験経路： 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ～六本木ヒルズ間(約5.3km)のルート

※大手町フィナンシャルシティ グランキューブ(住所：東京都千代田区大手町1-9-2)

※六本木ヒルズ(住所：東京都港区六本木6-10-1)

運行車両： ミニバンタイプ 1台 (センサー・PCを取り付けた自動運転実験車両)

運行回数： 1日4往復(予定)

料金： 片道1,500円(税込・予定)

主催： 日の丸交通株式会社、株式会社ZMP

協賛/協力： 三菱地所株式会社

協力： 森ビル株式会社

参加申込： 申込ウェブサイト <https://www.zmp.co.jp/aidelitaxi>

申込期間 2018年7月18日(水)11時30分～7月31日(火)18時00分

お問い合わせ 株式会社ZMP 自動運転タクシー実証実験担当 aidelitaxi@zmp.co.jp

利用方法： ウェブより申し込み後、抽選により予約可能者を決定します。予約可能者はスマートフォンで予約を行います。利用日当日に発車地にてご乗車、到着後決済し降車いただきます。



※運行回数に限りがあるため、当選した方すべてが希望の利用日時にご乗車いただけるとは限りません。あらかじめご了承ください。

※本実証実験は、車線変更や右左折、停止等をすべてシステムが自動で操作を行います。交通状況等により人が介入する場合があります。

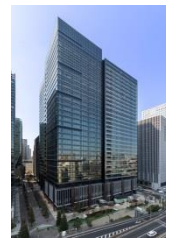
走行予定エリア



出典：国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/>)

大手町フィナンシャルシティ グランキューブ

三菱地所が大手町で進める連鎖型都市再生プロジェクトのひとつとして2016年4月に竣工。地下鉄5路線が乗り入れる「大手町」駅に直結し、オフィス、ホテル、スパ、店舗などを備えた国際金融センター大手町の新しいシンボル。



六本木ヒルズ

森ビルが東京の「文化都心」として2003年4月にオープンしたコンパクトシティの先駆け。オフィス、住宅をはじめ最上層部には森美術館や展望台を併設、更に約200の店舗やテレビの放送局、ホテルなど様々な都市機能を備える。



各社の概要と取り組み

日の丸交通株式会社

日の丸交通株式会社は、68年の歴史を持つ日の丸自動車グループの中核企業として、タクシー事業を展開しております。「腕よりも心で運転」をビジョンとし、タクシー業界に様々なイノベーションを起こし、安全とサービスの両立を目指しております。近年、急増するインバウンドと懸念される人手不足へのアプローチとして、「テクノロジー」「ダイバーシティ」「ヘルスケア」という三つのテーマを推進し、公共交通機関の一翼を担うタクシー業界の発展に貢献して参ります。

株式会社 ZMP

「Robot of Everything 人が運転するあらゆる機械を自動化し、安全で、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、ADAS・自動運転開発用プラットフォーム RoboCar®シリーズ、データ計測サービス RoboTest®、物流支援ロボット CarriRo®などを開発・販売。2014年より公道での自動運転実証実験を開始し、2017年12月には全国初となる運転席にドライバーが乗車していない状態での公道実証実験を実施。2020年の自動タクシー®実現を目指し、技術及びサービスの実証実験を重ねています。

三菱地所株式会社

三菱地所は、多様な人・企業が集い、交流することを通じて進化していく街を目指し、丸の内エリアの「オープンイノベーションフィールド」化を進めています。

その取り組みの一環として、「Marunouchi UrbanTech Voyager（丸の内 アーバンテック ボイジャー）」という名称の下、先端技術・テクノロジーについて、街づくりにおける有用性や実用ハードルについて検証を行うことに加え、大学やスタートアップ企業等と連携を深め、AI・IoT・ロボティクス分野を中心に調査・研究することで、将来の街への技術導入、エリア機能の向上を目指します。



森ビル株式会社

森ビルは都市とライフスタイルの未来を描き、イノベーションを生み出す都市づくりを実践することで、国際都市・東京の磁力向上を目指しています。日本初のAI自動走行宅配ロボットの実証実験（六本木ヒルズ/2017）や、都市とライフスタイルの未来を考える国際会議「Innovative City Forum」（六本木ヒルズ・虎ノ門ヒルズ/2013年～毎年開催）など、多様な都市機能を備えた「ヒルズ」を舞台に、MIT（マサチューセッツ工科大学）メディアラボ等、最先端の研究機関や大学、企業と連携し、様々な共同研究や実証実験に取り組みながら、「未来の都市のあり方」を提案し続けて参ります。